

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 「高度救命救急センター入室後 14 日間の累積エネルギー収支の把握～新規感染性合併症発生頻度の関係性についての後ろ向き観察研究～」

[研究責任者] 栄養管理室 主任管理栄養士 荒木 翔太

[研究の背景]

高度救命救急センターで集中治療が必要な患者さんの中には、入室中あるいは退室後に身体障害、認知機能障害、精神障害（いわゆる PICS）を生じることがあり、適切な栄養管理を行うことで予防に繋がると期待されています。日本集中治療学会のガイドラインでは、入室直後から沢山のエネルギーを補給するよりも通常より少ないエネルギーから補給する事が良いとされ、急性期を過ぎてから沢山のエネルギー補給を行うことが推奨されています。今回急性期に少ないエネルギー補給の管理がどの程度まで許容されるのかを調べ、高度救命救急センターを退室後に、より重点的な栄養管理はどのような人に必要なのかを調べます。

[研究の目的]

高度救命救急センター入室後の 14 日間の累積エネルギー収支を明らかにすること。  
一定期間のエネルギー収支と新規感染症発症との関連性を確認すること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2024 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の間に長崎医療センターの高度救命救急センターに入室した方

●研究期間：倫理審査委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：該当なし

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査）、栄養管理状況（経口摂取量、経管栄養量、静脈栄養量、感染症の有無、抗菌薬使用日数、リハビリテーションの状況（離床までの日数、端坐位開始までの日数、立位開始までの日数、歩行開始までの日数）

●検体や情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

#### [個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

#### [問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター  
栄養管理室 主任管理栄養士 荒木 翔太  
電話番号：0957-52-3121（代表）